

こどくの わくせい

sample

ぼくがうまれた このほしは

ぼくと かのじょと それだけだった

sample

ほかには なんにもない

ももべにいろした すなのわくせい

sample



となりのほしには

sample

なんでも あった

ないものなんか なんにもなかった



あるとき となりのほしの じゅうにんたちが

このほし あのほし はしでつないだ

sample

ぼくは あかいクルマを みつけたし

あんなところ こんなところ

たびして まわる



sample

よるは まいにち のみあるき
ひるまは グルメに あげくれた

ぼくはもっと！もっと！もっと！もっと！

sample
「しあわせになりたい！」

そうおもった

それから まいにち クルマをはしらせ
となりのほしまで かいものにいく



ひに ひに にもつは ふえていき

ぼくのクルマ いちだい じゃ

つみきれないから あるひから

かのじょ おろして あいた じょしゅせき

ワインにチーズにチョコレート

かばんに ぼうしに くつに とけい

つぎつぎ つぎつぎ つんでいく

このころからか

だんだん かのじょの ひょうじょう なくなって

あおく うつくしかった かのじょのひとみ

グレーのいろへと かわっていった



だけでも　ぼくは　やめてない
しらないふりして　かいもの　つづける

そして　ぼくは　きがついた
かのじょの　きえた　あとあたりから

ぼくいく　クルマの　わだちには
あおく　ひかるはな　さくよになった





sample



そんな あるひ あさはやく
そらを わるよな おおきな とどろき

じゅうせい や たいほう
へいたいのこうしん

きょうふに ひきつったものたちの
ひめいが あがる

「せんそう が はじまったんだ！」

ぼくは こわくなった
いそいで はしをわたり じぶんの ほしへ

sample



あっ！

めのまえ ももべにいろの ぼくのわくせい
あおく ひかるはなの ぐんせいに うめつくされていた

なさけないけど おおだすかりと

ぼくは はなのなかに もぐりこみ

びくびくと みをひそめた

そのとき！

きょうふで ひきつった ぼくのかおに

そっと かぜが ふいた

はなびらが あちこちで いっせいに なびく

キュルキュルキュルキュル

なんだかとても あんしんした



あまりにも きれいなはなだったので

ぼくは いちりん つみとった

せつな！

sample

はなびら パツとちり じょうくうから

ひとつぶの あおいしずくが おちてきた

なんだか ザワつきながらも せつないきもちで

ぼくは そこらじゅうの はなをつみつづけた

すると

バラバラだった しずくたち

こんどは おおきなおとを

ザーザーと

「これは なに？」

「いつか どこかで よんだことがある！」

「あめ！？」

うまれてこのかた

こはくいろぞらの ぼくのほし

いまは どんよりくもに つつまれた



sample



あめは　ますます　おおぶりに
かわに　みずうみ　うみが　あらわれ
クルマのなかに　ひなんする　ぼく

「でも　このままじゃ
そらが　うみに　のみこまれてしまう！」

sample

「なんとか　しなきゃ！」

ぼくは　ドアをけりあげ
たいかい　めがけて　とびこんだ



sample

だくりゅうに のまれ

ながいじかんが すぎたころ

きがつくと ぼくのからだは



おおきなうるこの おおきなせかなに なっていたんだ

ぼくは このうみのなかに まどろみ

とっばつてきに うまれた せいぶつたちと であい

いろいろな たいけんを した

sample



やがて

となりのほしを おもいだし

ひさかたぶりに ちじょうを みあげる

つめたいかぜが ほほをさす

「あれ？」

「せかいが いっぺんしている！」

そらには たくさんのほしが またたき

さくもつが たわわにみのる もりが

やみよの みなもにうかんでいる

このほし いまや あおいわくせい

うみには きゃくせん うかんでいるし

いきかう ジェットセンのエンジンおんが

ぼくの しこうかいを パタパタパタと くだく



sample

かんがえが まとまらない
けれども **かんがえろ！**

うみのそこへ ふかく ふかく ふかく
ふかく ふかく ふかく **かんがえろ！**

「しあわせって なんだろう？」

ぼくは きゅうに こわくなった
つよい そうしつかんに おそわれた

ぼくの こころにはポッカリと あながあき
あいたあなから あのこの ひとみが のぞいている

**「もう ぼくには
あなたを とりもどす しかくは ありませんか？」**

もしも あのとき にもつをすてて てをつないで あるいていたら
もしも あのとき にもつをすてて てをつないで あるいていたら

ぼくのなみだが うみのいろを すこしだけ ひからせた

sample



ぼくがうまれた このほしは
ぼくと かのじょと それだけだった

となりのほしには
なんでも あった
ないものなんか なんにもなかった

でも ぼくは なんにもいらない
ぼくは かのじょとふたり しずかにのんびりくらしているよ
それがとても こちよく きもちがよいものだったから…

~~「ごどくのわくせい」~~ あらため「しあわせのわくせい」

fin



sample



いしだえほん No.0096

こどくのわくせい

2019年1月11日 初版発行

え・ぶん

みおかわかおり

印刷・製本・発行

石田製本株式会社

〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31

TEL 011-676-4520

<http://i-bb.co.jp/>

©2019 Kaori Miokawa / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-95-1

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909377-95-1
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円＋税



9784909377951



1928771012000

sample

